

背景

- アルコール依存症などの「アルコール健康障がい」は、本人の身体への影響のみならず、家族や周囲の人への深刻な影響や重大な社会問題を生じさせる危険性が高い。
- 治療や回復には、心身共に多大な時間と負担を要することより、早期における治療等の介入が重要となる。

目的

- 日常診療において、かかりつけ医等が早期に飲酒問題に気づき、適切な治療及び関係機関連携等を行うことで、重症化を防ぎ、早期回復につなげる。

内容

- かかりつけ医が「アルコール健康障がい」についての正しい理解と治療介入を行えるよう、治療や患者指導に関する動画教材を作成する。
- 作成した動画はインターネット上にセキュリティーを付加して掲載し、地域で開催される医師研修で活用するほか、かかりつけ医が必要時に診療所等で視聴し、患者指導の実際に活用する。

動画教材の内容(案) (全15分)2部構成

「導入編」(約3分)

- 大阪府におけるアルコール健康障がいの現状を統計データなどを含めて解説する。
- 早期介入の重要性についてのガイダンスを行う

①動画の趣旨説明(メッセージ)

②大阪府の現状紹介 ※貴庁よりデータ提供が前提

かかりつけ医だからできる、患者とのコミュニケーションが重要です

分厚い資料を読む、医師の少ない診療所での診療、患者の理解が難しいなど、早期介入の重要性を伝える

男性 17.7%
女性 11.0%



約 76,300人

3,328 件

6,430 人

大阪府医師会
大阪府医師会
大阪府医師会

大阪府のアルコール健康障がいに関する現状の例

「実践編」(約12分)

- ①飲酒コントロール編-節酒
- ②多量飲酒編-断酒

アルコール健康障がいの診断と治療について、診療場面における具体的な指導法例を提示する。(既に大阪府で作成した教材を活用した指導教材を使用)

SBIRTSに則った具体的な指導法(ロールプレイング)動画を編集

SBIRTS各ステップの具体的な指導法をロールプレイングで学ぶ

Screening スクリーニング	Brief Intervention 簡易介入	Referral to Treatment 専門治療への紹介	Self-help group 自助グループへの紹介
----------------------	----------------------------	-----------------------------------	-------------------------------

①飲酒コントロール-節酒-
(かかりつけ医での指導・治療)

②多量飲酒-断酒-
(専門医療機関への紹介)

